



Y・T (統計学A・B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

自分が受講生だった時に、その時のSAさん方と仲良くさせていただいていたこともあり、やってみようと思いました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初回授業でとても緊張したこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAになるまではたくさんの人の前に立って教えたりする機会などなかったのですが、実際やってみると、想像以上に難しいことなんだなと気づきました。ですが、回数を重ねていくうちに、緊張などもなくなり、楽しく授業ができるようになりました。

また、自分自身もいままでの統計学ABの内容はもちろんですが、なるべくわかりやすく教えようとするために勉強することによって、より詳しい知識が身につきました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

最初は、自分にSAが務まるのかという不安もありましたが、統計学のSAの先輩や、その他の科目のSAの先輩方、担当の先生、同期もいるので、授業の時にこうした方がいいよ、などのアドバイスをいただいたり、同期と一緒に頑張っていくことができるので、心配しなくて大丈夫です。

SA間もみんな仲が良くて雰囲気もいいので、ぜひ一緒に頑張っていきましょう！

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

今期、半年間大変お世話になりました。

担当の大濱先生、藤井先生、統計のSAの3名や、その他の科目のSAさん方にもお世話になり、ありがとうございました。おかげで、楽しく授業することができました。来期もよろしくお願いします。



K・I (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

良い経験が出来るかと確信したから。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

今期は前期に比べて受講生に質問される事が多くなった。日々成長していることが実感できた。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験して変化したこと成長したこと。そもそも、私は多くの人の前で話すことが得意ではなかった。しかし、SAを経験し、多くの人の前で話す機会が増えていくにつれ、人前で話すという自分の不得意を克服していったように感じる。また、経験して分かったことだが、多くの人に正確に物事を教えるという事は難しい。しかし、多くの人に正確に自分の準備したものが伝わった時の感動は例えられない。物事を伝える事の難しさを知り、物事を伝えれた時の感動を知った。その事もあってか、日頃から人に何かを伝える時は分かりやすく伝える工夫などをするようになった。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

生徒でありながら、講師にもなれるSAのような経験が出来るチャンスはおそらく無いだろう。大変な時もあるが、それだけやりがいがある仕事だ。SAの利点を述べよう。多くの人の前で話す機会が増え、人前で話す事の耐性がつく。教授から裏事情を聞けたりできる等、まだまだ多くある。SAを経験していない限り、滋賀大学を知り尽くしたとは言えないだろう。

もし、少しでも興味があったり、迷ったりしているのならSAになった方が良いと思う。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半年間、とても良い経験ができました。大濱先生や他のSAの方が私に親切に接してくださったことはとても感謝しています。半年間、お世話になりました。



Y・S (統計学A)

SAを始めたきっかけは、昔の統計のSAの人間に誘われたことがきっかけでした（都合によりすぐにSAにはなれませんでした）。SAになって印象的な出来事と言えば、受講生に顔を覚えられたことです。食堂で知らない人に声をかけられて、後から受講生だったと発覚した時は「気づいてあげれなくてごめんなさい」って気持ちになりました。

僕がSAになって成長できたことと言えば、応用力だと思います。統計学Aはある問題の解にたどり着く方法は様々あることが多いので、1つの解法に拘らず色々な解法を模索することで、統計学Aを受講するだけでは培われなかった能力が鍛えられたと思う。また、受講生にとってどの方法がわかりやすいかを考えるのも楽しかった。

もし、SAになりたいと思っている人がいたら是非応募することです。教えることに自信がないなら気にする必要はありません。誰だって最初はそうだし、僕らがその時は寄り添うので安心してください。僕が思うに一番大切なのは能力ではなく情熱です。それがあれば誰でもSAとしてやって行けるので、情熱ある人は是非来期以降一緒にSAやりましょう。

いつもシフト表やメールの返信を忘れてる僕に優しくしてくれた支援室のスタッフさんたち、いつも指示書を無くしてた僕に見してくれてた後輩たち、そして半年間いつも笑顔で話してくれた大濱先生。今学期も多くの方達に支えられた半年でした。本当にありがとうございました。来期もよろしくお願ひします。



R・F (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前のSAの方に声をかけていただいたため。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

特になし

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人にわかるように説明することの難しさを学んだ。また、自分が履修していた頃より統計学における学びが深まった。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

学生相手に授業することは、なかなか経験できることではないので、この経験は他の人に差をつけるものになると思う。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

この半年間楽しんで、SAをすることができ、ありがとうございました。



H・N (統計学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

統計B履修時に、SAの方に言われたこと

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初めて質問待機にいたときに、質問に来られてお礼を言われたこと

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAとして学部生に教えるという立場なので、勉強や日常生活での立ち振る舞いなども、しっかりと模範になれるように、いつも以上に心がけるようになったこと。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

学生のと時から大勢の人の前に立ち、なにかを分かりやすく伝えるという経験は、あまり出来ることではなく、かけがえのないものだと思います。また、その科目の勉強をするのは必然となり、より理解を深めることができると思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

この半年間、大変お世話になりました。

この学期から始めて、なに1つも分からないところをたくさんフォローしてくださって、ありがとうございました。また科目を問わず、学習支援室にいるときも、お世話になりました。



I・I (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。最初は先輩に誘われたためです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

今期は多くの人が新しくSAになってくれたため、授業を共に行う際に、どのようにすればわかってもらえるかなどを考えている姿が印象的でした。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAは前に立って講義をしたり、質問待機で質問に答えたりと、人に対して如何に物事を伝えるかということが大事な仕事です。さらにSA内でも受講生に上手く伝えるにはどうすればいいのかということをおアドバイスしたりする際にもその内容を上手く伝える事が大切です。よって相手がどこで詰まっているのか、どのような思考でその結論に至っているのかなどを考えながら話す機会というのは必然的に増え、「伝える」というスキルを磨く事はできたかと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

人の前に立って何かを話すという機会は大学生活を通してそこまで多くある機会ではないと思います。ましてやあれだけ多くの人数を前にという事はなかなかないでしょう。しかしこれからの人生において、人前に立って発表するという機会は多々あるかと思います。そんなスキルを養う場としてでもとてもお得な上に、改めてその担当科目と深く向き合い、より理解を深める事ができるので超お得です。とりあえず興味があるならやってみてください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

鈴木先生、SAのみな様、秋学期間お疲れ様でした。無事に15回の講義を終える事ができてとても良かったです。3回生の方が多かったのでこれから就活が始まり大変だとは思いますが、ここでの経験を存分に活かして希望に沿った未来を勝ち取ってください！面接なんて多くても3人とかくらいまでしかいないので100人からの前で講義をした経験があれば大丈夫です！

2年間お世話になりました。ありがとうございました。



M・S (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。受講生だった時の経験などを活かしながら勉強しやすいと感じてもらえたら、と思って続けさせていただいています。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

留学生の方から、話し言葉が分かりやすいという声をいただいたことです。

勉強内容の理解はもちろん、言葉も意識していたので嬉しかったです。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

実際、大勢の受講生の前で話すので、度胸もつくと思います…！

視覚で訴えられるよう、見やすい資料を作ることも、定着してきたと思います。

何より、数をこなすので自信につながります！

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

3回生の後半になって、大学生の貴重な時間を身に染みて感じました。

SA活動は今しかできない経験だと思うので、少しでも興味があれば是非一歩踏み出してみてください。何か得られることは間違いありません。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

鈴木先生、学習支援室の皆様、今期も手厚いサポートをありがとうございました。

無事に活動を終わることができました。またよろしく願いいたします。

マクロSAの皆様も、お疲れ様でした！(^^)



K・S (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

受講生の時にSAさんに沢山教えていただいたのと、SA間の仲が良く楽しそうだったから。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

鈴木先生のマクロAが初で、みんなして緊張しながら臨んだこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

今学期は受講生の方により理解してもらうために、話を噛み砕くことを意識して話していました。わかりやすく伝えると言う部分で少しは成長できていたら嬉しいなと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

あんまり理解できないまま試験受けたし、人に教えるなんて無理…と思われる方もいると思います。

私も最初はそう思っていたのですが、先生にお聞きしたりSA同士で話し合ったりなど、改めて理解できる場は沢山あります。

なので気負わずに挑戦してみてください！

質問などがあれば、是非お声かけください^^

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

半期お疲れ様でした！

人数が多く、賑やかな学期だったなあと思います。来期も継続される方が多そうなので…！またよろしくお願いします^^



T・F (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

試験対策講座。15番教室が立ち見が出る程混雑していた事です。

自分の話した事が200名以上の生徒に影響する為、普段以上に緊張を感じました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

各公式の意味まで理解できた点です。スライドを作るうえで大事だと感じたのは公式を丸暗記してもらおう事では無く、頭の中に公式が意味する事のイメージを作ってもらおう事だと思ったからです。その為にもスライドを作る際には公式を専門用語無しで一言で表すならどういう意味なのか、漠然としたイメージを考えながら作業しました。

なので自分自身が点を取る為にすべき事と他人に教える為にすべき事は違うのだと実感しました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

非常勤講師として生徒の前に立てる経験は他大学では殆ど聞いた事が無い話です。こうした制度が存在する滋賀大学は恵まれています。SAとして勤務していく中で大きなメリットと感じたのは他の生徒に教える為、話の内容やスライドを工夫する事によって受講生の時には気づけなかった"公式の意味"等が多くある事です。

学内のポスターや講義内の案内を聞いても躊躇してしまう事もあるかもしれませんが、担当教員を中心に充実したサポートがあるので安心してください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

鈴木教授, SAの皆さま, 半期ありがとうございました。

未だ至らぬ点もありますが、講義終了後に下さったアドバイスを活かすことで来期は成長したいと思います。



T・H (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

自分自身が履修時にお世話になったため。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

試験対策講座では、予想以上に多くの学生が足を運んでくれ、積極的に質問に来てくれたので、印象に残っています。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験させて頂いたことで、分かりやすく話す・教えるといったスキルや、それに対する意識が向上したと感じます。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

学生のうちから、何十人・何百人を前に話したり教えたりできる機会は、多くの人の場合滅多にない事だと思います。そのような貴重な経験ができるとともに、自分自身の成長にもつながると思いますので、興味のある方はぜひ挑戦してみてください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

SAは今期が初めてでしたが、他のSAの方々の授業やスライド等から、大変多くのことを勉強させていただきました。有難うございました。



M・Y (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

コアセッションを受講するなかで大勢の人を前に堂々と講義を行うSAさんに憧れを感じたから。(それと就活のエピソード作り^^;)

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

部活の後輩たちが僕の講義に欠かさず出席してくれたこと。後輩が質問待機に来てくれたこと。(皆ありがとう!^^)

TA/SAを経験して変化したこと, 成長できたこと

主に2つあります。一つは人前で話すことに抵抗がなくなったことです。以前まではインターン等人前にでて発表する際に、緊張で言葉がまとまらず上手く話せないことが多々ありましたが、SAの経験を経てそれらが一切なくなりました。二つ目は物事をロジカルに説明できるようになったことです。コアセの資料作成や受講生の質問対応のなかで、グラフや数式を用いて順序だてて考えることが習慣化されたと思います。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

成績やプレゼン能力等はそんなに関係ないので、少しでも興味があればチャレンジしてみてください。慣れてくると自分の出来ないことが出来るようになっていくこと、他者が出来ないことを出来るようにしていくことに対して面白みを感じれるようになってくるとおもいます。短期間で得られるものは非常に大きいと思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

初めてで分からないこと、不慣れなところが多かったですが皆優しくフォローしてくださり大変助かりました。ありがとうございました！特に毎回講義前にスライドチェックしてくれたs寺SAには感謝です！



J・S (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

受講生時代、当時のSAさんと親しくさせていただいていたからです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

鈴木先生がひっかけ問題を嬉しそうに解説していたこと。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

マクロ経済学の担当は今期が初めてでしたが、SA活動を通じてさらに理解が深まりました。また、私はもともと人と話すのが苦手でしたが、CS後や質問受けの時間など個別で受講生と話す機会もあり、苦手克服に繋がりました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SA活動は、大人数の前で話すという学生のうちはなかなかできない経験ができます。知識などの不安があるかもしれませんが、少しでも興味があれば挑戦してみてください。きっと後悔はしないと思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

マクロ担当の皆様、ミクロのCSがなくなり職無しになった私を快く受け入れていただき、本当にありがとうございました。鈴木先生をはじめ、SAの皆さん方も気さくな方ばかりで半期の間楽しく勤めることができました。来期はまた科目も別になりますが、お互い高めていけたらと思います。統計の皆様もお世話になりました。

先生方よりメッセージ



大濱先生(統計学A)

お疲れさまでした。

継続の3人に関しては何も心配していませんでしたが新規の2人は2回生ということもあり始まる前は少し心配していました。

ですがふたを開けてみたらまったくそんな心配は必要なく驚くほど堂々と教えていたと思います。

ありがとうございました。



藤井先生(統計学B)

統計学Aから引き続き、統計学Bの運営にご協力いただきありがとうございました。ここで得た経験も是非とも将来にお役立て下さい。



鈴木先生(マクロ経済学A)

マクロ経済学S Aの皆さん、授業補助と質問待機、対策講座の担当と、資料作成やその準備、そして問題集等の内容確認や諸々の指摘と意見まで頂いたことに感謝いたします。この半年間ご苦労様でした（BGMがシンシアリーのつもり）。

三回生は今後一層のスキルアップを続け、こうした経験をもうすぐ始まる就活（終わるまでは終わらないよ）に活かして下さい。

四回生は彼だけでしたが、SAチームをソフトに良くまとめてくれました。2年間の担当ありがとうございました。これらの経験を良い思い出として新しい生活と仕事に挑戦して下さい。